

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号: 1 事業名: 県政モニター費

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
諸平アドバイザー	<p>謝礼をクオカードに変更したことにより回答率が上がったとのことだが、金品を受けることによってバイアスがかかることはないのか。</p> <p>事業課にアンケート集計結果を提供する際には、広聴広報課で集計・分析が終わったものを渡すことはできないのか。</p> <p>アンケートによって県の事業内容を県民に知らしめることができるため、広聴広報課でアンケートを修正することはあるか。</p>	課長・渡邊 和彦	<p>大きくバイアスがかかることはないと考えている。クオカードを導入するにあたっては、全国の状況や制度上可能かどうかを調べた上で決定した。なお、クオカードのデザインは、山梨県をPRできるように山梨県らしい絵柄を3種類用意している。</p> <p>アンケート結果を分析するにあたっては、アンケート内容について専門的な知識が必要となるが、広聴広報課では専門的な知識を持ち合わせていないため、分析は事業課で行うことが最も適切であり、合理的である。また、単純で機械的なものであれば広聴広報課でも実施可能であるが、記述を求めるアンケートが多いため集計や整理が難しい。かえって、アンケートの意見を見ながら気づかされる部分や新しく発見する部分もあるため、事業課で行う方がより効率的、効果的である。</p> <p>直接修正することはないが、アンケートに県の事業を紹介する部分を盛り込んでどうかといったアドバイスをすることはある。</p>
五味アドバイザー	事業課から上がってきたアンケートが、アンケートとしてあまりに意図的過ぎないかと思われるも	課長・渡邊 和彦	アンケートは、各事業課が作成して、部局長クラスまで確認しているので、広聴広報課としてはアドバイスをすることはあっても、全体として狙っ

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
<p>五味アドバイザー</p> <p>アンケートに回答しない方たちが20%ほどいるが、それはほぼ同一の方か。</p> <p>小口アドバイザー</p> <p>アンケートの分析結果は公表しているか。広聴広報課は、アンケートの分析結果を見ているのか。</p> <p>ホームページで県民に公表するものであれば、分析結果に関するコメントは載せるべきだが、単純集計のみの公表で終わってしまっている。また、職業や地域を聞いているにもかかわらず、職業別や地域別の分析がされていない。</p> <p>提出された3つのアンケートは、事業課によって回答の仕方や設計がかなり異なるため、基本的なフォーマットを統一してもよいのではないか。</p> <p>分析結果がどのような施策に生かされているのか広聴広報課でチェックはしているか。</p> <p>各事業課では、分析結果をただ単にそのまま上司に回議しているということはないか。</p>	<p>課長・渡邊 和彦</p> <p>課長・渡邊 和彦</p>	<p>ている意図のところまで修正することはしていない。</p> <p>アンケートの回答状況を見ると、アンケートの内容によりけりで、必ずしも同一の方とは言えない。</p> <p>広聴広報課のホームページに載せている。ホームページに載せる際に内容は見ているが、内容について事業課に意見を述べることはない。</p> <p>アンケートの制度設計は事業課が行っており、その内容についてアドバイスはしていないが、分析をもう少しの方がいいというご意見があったことは、これからアンケートを行う事業課に伝え、分析を細かくしてはどうかというアドバイスをしていきたい。</p> <p>今回、代表的な例を3つ挙げたが、アンケートの内容は千差万別でありなかなか統一的なフォームを作ることは困難である。</p> <p>そのアンケートを何の計画や事業に使うのかということは一覧表として把握しているが、どのように使われたかについて事細かに把握していない。</p> <p>アンケートをしました、その結果を内部で見ましたというだけでは、このアンケートをやっている意味がなくなってしまう。実際、分析結果はアンケートを実施した目的に活用されている。</p>	